

**令和8年度**

**看護学研究科（博士前期課程）**

**問題・出題の意図・解答のポイント**

令和8年1月10日

高知県立大学大学院

## 小論文

問 保健医療における不確実性に向き合う上で看護職に求められる能力について、あなたの考えを述べてください。

(100点)

### <出題の意図>

保健医療においては不確実なことも多く、看護職として不確実性に向き合うことが求められる。この設問により、看護職に求められる能力に関する専門的知識、看護実践に対する洞察力、論理性と抽象的思考力をみる。

### <解答のポイント>

保健医療における不確実性に向き合う上で看護職に求められる能力として、予測性をもち対策を講じる能力、臨機応変に対応する能力、曖昧さに耐える能力などについて、自らの考えを述べていること。

## 英語 実践リーダーコース

次の英文を読み、下記の質問に日本語で答えてください。

(50点)

出典: Wendy Moyle: Chapter 3, Principles of strengths-based care and other nursing models: Wendy Moyle, Deborah Parker, Marguerite Bramble (2014): *Care of Older Adults: A strengths-based approach*, CAMBRIDGE UNIVERSITY PRESS. pp. 33-48 より抜粋

### <出題の意図>

大学院博士前期課程において必要となる基礎的な英文読解力と、設問の内容を的確に把握し解答する力をみる。

問1 下線部を日本語に訳してください。

(20点)

### <解答のポイント>

文章を正しく捉えて、日本語に訳していること。

問2 ストレngthsを基盤としたアプローチを実践することについて、あなたの考えを述べてください。

(30点)

### <解答のポイント>

設問に対して、自らの考えを述べていること。

## 専門科目 クリティカルケア看護学

問1 事例を読んで、以下の1)、2)に答えてください。

(100点)

胸痛を訴えて救急搬送されたAさん(72歳、女性)は救急外来で心停止をきたし、蘇生後自己心拍が再開した。急性心筋梗塞の診断で経皮的冠動脈形成術(PCI)を行い、右鼠径より中心静脈カテーテル挿入、人工呼吸器装着にてCCUに入室した。

2日目には抜管し、「命拾いました。感謝しかありません。本当にありがとうございます。がんばらないとね」と話し、意識レベル清明で、離床を開始した。

4日目、声をかけると目を開けるが、ぼーっとしており、指示動作はできるものの、会話がかみ合わない。バイタルサインは、体温38.4℃、呼吸数28回/分、脈拍100回/分(整)、血圧96/50 mmHg、ルームエアで経皮的動脈血酸素飽和度(SpO<sub>2</sub>)94%、尿量は2時間で40 mLであった。

1) Aさんの状態をアセスメントしてください。

2) 1)をふまえて、Aさんへの看護援助について、具体的に述べてください。

### <出題の意図>

重症患者の状態を評価し、早期に対応することは、重症化を防ぐ上で重要な看護援助である。この設問により、重症患者への看護援助に関する専門的知識、分析力、看護実践能力、論理的思考力をみる。

### <解答のポイント>

問1-1) Aさんのアセスメントとして、意識障害、呼吸回数の増加、循環動態の不安定さ、発熱、カテーテル感染の可能性などから、敗血症の徴候と臓器障害について述べていること。

問1-2) 上記1)をふまえて、Aさんへの看護援助について、全身状態のモニタリング、培養検査の準備、抗菌薬の早期投与、輸液管理、苦痛緩和などの視点から具体的に述べていること。

問2 口渇感を有する重症患者に対する看護援助について、以下の1)、2)に答えてください。

(100点)

- 1) 重症患者の口渇感の要因を2つとりあげ、説明してください。
- 2) 1) をふまえて、口渇感を有する重症患者に対する看護援助について、根拠とともに述べてください。

<出題の意図>

口渇感は重症患者の多くが体験する苦痛症状の一つであり、重症患者の苦痛を緩和する上で重要である。この設問により、重症患者の口渇感に関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

- 問2-1) 重症患者の口渇感の要因について、絶食に伴う唾液分泌量の減少、治療による口腔内乾燥、脱水や電解質異常などから2つとりあげ、説明していること。
- 問2-2) 口渇感を有する重症患者に対する看護援助について、1) でとりあげた要因をふまえて、口渇症状の主観的評価、口腔環境の観察、口渇のリスク因子の評価、口腔ケアの実施などについて、根拠とともに述べていること。

## 専門科目 母性看護学

問1 出生後の早期母子接触においてどのような看護援助を行うか、根拠も含めて具体的に述べてください。

(100点)

### <出題の意図>

出生後の早期母子接触は母子相互作用を促進し、愛着を形成する上で重要である。この設問により、早期母子接触の看護援助に関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

### <解答のポイント>

出生後の早期母子接触の看護援助について、目的や実施方法を説明すること、母子の健康状態をアセスメントし安全に実施すること、母親が家族とともに新生児の反応に集中できる環境を整えることなど、根拠とともに具体的に述べていること。

問2 人工妊娠中絶を受けようとする女性への看護において重要な視点と、具体的な看護援助を説明してください。

(100点)

### <出題の意図>

人工妊娠中絶は女性の健康問題の一つであり、性・生殖に関する女性の自己決定や女性の権利の視点から看護を行うことが重要である。この設問により、人工妊娠中絶を受けようとする女性への看護に関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

### <解答のポイント>

人工妊娠中絶を受けようとする女性への看護における重要な視点として、女性の健康、性・生殖に関する女性の自己決定、女性の権利などをあげ、具体的な看護援助として、女性の思いの傾聴と共感、インフォームド・コンセントに関する支援などを説明していること。